

令和 7 年度 清瀬市立八小第 1・第 2・第 3 学童クラブ 保護者アンケート  
課題と対策

1. 運営概況

- **運営状況:**指定管理者として運営を行う当クラブは、保護者の皆様から「毎日楽しそうに通っている」「安全な居場所を提供してくれている」といった温かいお言葉を多数いただきました。アンケートの結果、お子さんが楽しく過ごせているかという問いやイベント内容についても多くの肯定的な回答をいただいております。
- **回答率:**全対象者 102 世帯のうち 67 名から回答をいただき、回答率は 66%でした。

2. 課題と対策

課題(保護者の声)	対策(運営側の回答)
<b>子どもの安全と荒れた環境への対応</b> ・『うるさくて嫌だ』『非常識行動をする児童がいる』ため、楽しく過ごせないときがある。備品を投げ飛ばす、職員を蹴飛ばすなどの暴力行為があり、不安を感じる」P2-問 2、P17-18 等	プライバシーに配慮しながら、専門機関と連携し、その児童に合った接し方や、必要に応じて見守りを強化してまいります。全児童の安全を確保するため、環境の改善を行いながら、子どもが楽しいと思える学童にしていきます。そのことで保護者の皆様に安心して預けていただける居場所づくりを最優先とします。
<b>支援員の言動・接遇</b> ・「児童に対して『嘘つかないの』『バカ』といった不適切な言葉遣いを使用したり、保護者に対して上から目線で話す態度を感じたりした」(P5-問 8、P16-2 等)	全職員の行動規範を再徹底します。児童への不適切な言葉遣いや威圧的な態度は許容せず、接遇に関する定期的な研修を強化します。不満や要望がうやむやにされることなく誠実に対応できる体制を確立します。
<b>職員体制と個別支援の確保</b> ・「手が足りていない印象」「先生の数が少なく、子どもが相談などゆっくり話をする時間が確保できていない」P3-問 3、P17-12 等	職員の業務分担を見直し、安全確保だけでなく、子ども一人ひとりの相談を傾聴する時間を確保できるよう配置と関わり方を改善します。助けが必要な子が取り残されることのないよう、見守りの体制を強化します。
<b>怪我・トラブル時の連絡体制</b> ・「怪我や体調不良の報告が保護者から聞いて初めてわかることが多々ある」「お友達に嫌なことをしてしまった	ご不安な思いをさせてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。職員一同、お子様一人ひとりの様子をより丁寧に見守るべきであったと深く受け止めております。

<p>ときも親に連絡がほしい」 P6-問 9、 P6-問 10 等</p>	<p>怪我・体調面: 本人が訴えない小さな擦り傷や、顔色の変化なども、お迎え時に必ず共有いたします。 友人関係: トラブルがあった際は、その場の対応だけでなく、経緯を正確に保護者の方へお伝えし、再発防止に努めます。 保護者の方もお気づきのことがございましたら、学童までお知らせいただけますようお願いいたします。</p>
<p>情報伝達ツールの利便性 ・「アプリ(さくら連絡)の使い方がわかりにくい」「当日連絡も 9 時までしかない」など、機能と運用に不満がある P16-8</p>	<p>保護者の皆様の利便性向上に向け、アプリの機能改善を要望するとともに、連絡方法や利用ルールについて、マニュアルを整備し、保護者への周知と説明を徹底します。</p>

### 3. 保護者からの温かいお言葉

- 「毎日楽しそうに通っています！」
- 「いつも安全な居場所の提供をありがとうございます」
- 「普段から子どもが楽しめるイベントや、親子で参加できるイベント等があって、とても満足しています」(P16-6)
- 「毎日楽しく通学させて頂き、お友達もたくさんいるようで安心しております。今後ともどうぞよろしくおねがいいたします」
- 「先生方のおかげで、最近は楽しくなってきたようです」

保護者の方々からの温かいお言葉は、支援員全員の大きな励みとなりました。

今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所を目指し、職員一同精進してまいります。